

事務事業名		三陸鉄道利用促進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目			
	施策名	交流連携を支える交通・情報ネットワークの充実				会計	款	項	目
	基本事業名	公共交通機関の利便性維持と利用促進				01	02	01	06
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
所属	部課名	商工港湾部商業観光課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		(開始 昭和59 年度～)			
	課長名	鈴木 弘		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		【計画期間】			
	係名	交通通信係	電話	27-3111		年度～ 年度			
	担当者	佐藤直司	内線	108		※全体計画欄の総投入量を記入			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
三陸鉄道が企画するイベント企画列車で利用促進等のPRを図る。主な業務は、三陸鉄道利用促進のPR活動の実施で、近年は、客船乗船客を対象とした三鉄ツアー列車を運行しており、参加者歓迎行事を実施している。また、三陸鉄道南リアス線「恋し浜駅」の名前からとった品種のバラ「恋し浜」を活用したPR活動も実施している。事業費は、当該ツアー参加者へ配布するプレゼントの費用や三鉄PR用消耗品費、「恋し浜」バラの管理用消耗品費として支出される。						総投入量 (千円)	国庫支出金		
							都道府県支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源		
							事業費計(A)	0	
						正規職員従事人数			
						延べ業務時間			
						人件費計(B)	0		
						トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・三陸鉄道全線開通イベント及び3鉄まつり、客船乗船客を対象としたツアーでPR活動を実施。		ア	三鉄利用促進イベントの開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
・三陸鉄道全線開通一周年記念イベントでのPR活動。		ウ	
・3鉄まつりでのPR活動		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・客船乗船客を対象としたツアーでのPR活動。		名称	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		単位	
・一般市民		カ	大船渡市人口
・交通機関利用者		キ	三陸鉄道南リアス線利用者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
三陸鉄道の魅力が高まり、乗客が増加する。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
利用者の利便性に配慮して運行する。		単位	
		サ	三陸鉄道乗車人数
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	19	36	48	139	204	206
	事業費計(A)	千円	19	36	48	139	204	206
人件費	正規職員従事人数	人	3	1	1	1	3	3
	延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30
	人件費計(B)	千円	120	120	120	120	120	120
	トータルコスト(A)+(B)	千円	139	156	168	259	324	326
⑤活動指標	ア	回	0	1	1	3	3	3
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	39,000	39,000
	キ	千人	0	0	77	178	200	200
	ク							
⑦成果指標	サ	万人	30	39	50	69	80	80
	シ							
	ス							

事務事業ID	0382	事務事業名	三陸鉄道利用促進事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	開始年度は不明であるが、昭和59年の開業時に発足した岩手県三陸鉄道強化促進協議会の活動とは別に、三鉄利用促進のための特色ある活動をしていこうということから開始された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	三陸鉄道開業時に269万人あった利用客が、20年後の平成15年度には、39.6%にまで減少し、資金不足となった三陸鉄道は、三陸鉄道運営助成基金を取り崩して赤字額を補填してきた。 東日本大震災により被災した鉄道は、平成26年4月に全線運行再開を果たしたものの、地元住民の利用離れが懸念されている。 平成26年12月には復旧事業の協定書に基づき、三陸鉄道(株)が所有する車両以外の鉄道事業用減価償却資産が沿線市町村に寄付され、市町村は当該資産を三陸鉄道(株)に無償で貸付することとなった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・三陸鉄道を利用している市民からは、三陸鉄道がなくなっては困るので、積極的に事業展開をしてほしいとの声がある。 ・市民からは、市役所職員から率先して三陸鉄道を利用するべきという声もある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	利用客の減少が続く中、魅力あるイベント列車を企画して実施していくことは、三陸鉄道の利用が促進されるため。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	三陸鉄道は、地域住民の重要な公共交通機関であり、この鉄道を存続していくためには、利用客を増加させるための利用促進策を沿線市町村が率先して取り組まなければならないため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	三陸鉄道の利用促進を図るための事業に取り組むことで、三陸鉄道の魅力が高まり、乗客が増加することにつながるため、対象・意図とも限定・追加・拡充する必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	イベント回数を増やすことで三陸鉄道の乗車数は増やすことは可能だが、一過性に過ぎず、一般市民の日常的利用をいかに増加させるかが課題である。しかしながら、自家用車が普及した現在の時代背景を考えれば、現在の乗車人数は妥当と言える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	当該事業を他の事務事業にて引き続き実施することにより影響はないものとする。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	三陸鉄道の利用促進を図るための事業として、県と沿線市町村と三陸鉄道で構成する岩手県三陸鉄道強化促進協議会の活動 三鉄支援の類似事業(岩手県三陸鉄道強化促進協議会参画事業、三陸鉄道支援事業)に統合可能である。
	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	現在支出している金額は、必要最小限であり、これ以上上げることができない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	現在の事務は、必要限度のものである。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	企画列車を実施するにあたり、参加者からは乗車運賃や各種経費等の参加費用を徴収している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>地域の公共交通の利用促進をはかる当該事業の実施は妥当であるが、三陸鉄道線の経営状況を考えた場合、利用促進と経営支援を一体的に進めることが必要であった。前年度の反省点として、新年度の予算要求時に類似事業との統合について、検討する必要があったと思われる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>三鉄支援の類似事業(岩手県三陸鉄道強化促進協議会参画事業、三陸鉄道支援事業)に統合する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	商業観光課長	鈴木 弘
---------------	-------	--------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>・当該事業は三陸鉄道支援事業と統合できる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・当該事業については、三陸鉄道支援事業へ統合する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 政策推進会議等での指摘事項</p>
